

シビルNPOプラットフォーム 新規事業創出へ研究会

技術・人材生かす方策探る

4月に設立し8月1日
付でNPO法人として活
動を開始した「シビルN
PO連携プラットフォーム
ム」(CNCP、山本卓
朗代表理事)は、NPO
事業化研究会」を立ち上
げて、ゼネコンや建設コ
ンサルタントの未活用技
術や特許などを調査し、
技術や人材をNPOの立



場から戦略的に事業とし
て生かす方策を研究す
る。
9月2日午前10時から
東京都千代田区の名古屋
ビル本館で参加企業向け
の説明会を開く。

研究会は、CNCPの
会員のシビルサポートネ
ットワークを担当責任者
として運営し、参加企業
各社に経営コンサルタン
トを加えた共同研究組織
となる。
研究内容は、▽技術事
業化プロセス・手法を理
解するための研究会の開
催▽参加各社での具体的
調査・検討内容▽事業化
に向けた各調査結果の取
りまとめ▽事業化計画書
の策定(新規事業の企画
・提案)の4点。期間
は14年9月5日15年7月

(第1フェーズ)、15年
8月5日16年7月(第2フ
ーズ)の計2カ年。
月に1回・2時間の研
究会を開催し、技術、情
報、研究成果を共有。参
加企業には積極的な新規
事業の創出を展開しても
らう。
問い合わせは研究会事
務局(電子メール:npocan
@bridgeoon.ne.jp)へ。

のように行動していけば
よいのか。皆さんとも
に議論しながら、CNCP
の方向付けを考えてい
きたい」とあいさつした。
土木学会は、NPO活
動の現状と課題について
調査研究などを進め、12
年に「建設系NPO連絡
協議会」を設置した。2
年間の活動を経て、今年
4月にNPOの中間支援
組織CNCPを設立。8
月1日付でNPOの登記
を行い、本格的な活動を
開始した。

産学官 真の連携へ

設立記念シンポ開く

土木学会(磯部雅彦会
長)が創立100周年記
念事業の一環として4月
に発足させた「シビルN
PO連携プラットフォーム
ム」(CNCP、山本卓
朗代表理事)は1日、東
京都新宿区の土木学会講
堂で設立記念シンポジウ
ムを開いた。テーマは
「シビルNPO事業のマ
ーケット化を目指して」。
あいさつする山本代表理
事(右端)

日本NPOセンターの早
瀬昇代表理事、日本PPF
I・PPP協会の植田和
男理事長、CNCPの辻
田満常務理事が話題を提
供。聴講者とともに意見
を交わした。
冒頭、山本代表理事は
CNCP設立の流れを紹
介しながら「今後、NP
Oが企業・大学・行政と
のパートナーシップを
構築していくためにはど

事業内容は、NPO法
人の情報・事業活動・組
織運営に関する支援のほ
か、政策や制度の調査研
究と成果の広報、政策提
言・提案などを行う。企
業や政府・地方自治体、
大学・研究機関との交流
や人材育成なども進め
る。